

市へ質問



**障がい者交通費
割引制度について**
平田 江美子

三障がいのなかで、精神障がい者はタクシー・JR・バス・有料道路・航空などの交通費割引制度の対象になっていないことが調査でわかった。三障がいそれぞれに取り組みや経過も違うと思うが、制度に関しては平等でなければならぬと考える。

市長は上京の際、厚生労働大臣に精神障がい者も対象となるよう要望してきたことを確認している。「わが党にも道議、国会議員がいるので、実現にむけて働きかけていきたい」と訴えた。



**ふるさと納税制度の
速やかな実施を**
成田 昭浩

○ ふるさと納税制度の実施のスケジュールについて

○ 制度の設計をすすめている。寄付金の用途などについて関係団体に意見を聞いている段階である。制度運用の時期は21年4月を目途としている。

○ 市長から見た庁内組織に対する現状の認識について

○ 自分の熱意や意思が職員全員に行き渡っているかと言えはその途上にある。新たな工夫で風通しの良い職場環境を目指したい。



組織体制見直すべき！
赤根 広介

○ グループ制導入後の成果および課題解決に向けた取り組みについて。

○ 職員数の減少や、一時的な業務量増加への対応などに一定の成果を得ている。課題として、グループ制のメリットを十分に発揮させるという認識の欠如や業務の確な把握と役割分担が一部において適切ではなかった。今後は総括主幹などのリーダーシップ向上や、情報の共有化、職場全体のチームワークが図られる取り組みが必要と考える。



**環境問題および
ブックスタート**
木村 俊子

○ 二酸化炭素削減活動を広めるため、実践する市民を登録し、削減量を集約する考えは。

○ 小学生に「こども環境家計簿」冬休み用を作成・配布し、結果を集約する。

○ 赤ちゃんのからだを育てるために授乳が必要なように、心と言葉を育てる「ブックスタート」を実施する考えは。

○ ボランティア団体、育児支援に関わる方々と連携しながら、ワークショップを開催するなど、成長過程に合わせた事業の構築に向け具体的な方策を検討する。



**授産施設で
立体農場栽培**
山口 賢治

今回は、大綱3点について質問し、その中で、障がい者基本法の理念である「地域生活と就労を進め、自立支援するという視点から、立体農場を調査研究するように」と提案した。これは廃校や空き施設を活用し、スチールパイプで組立てた棚に、新しく開発された土壌をパレットに敷詰め、電光や湿度などを一体的に管理する有機栽培のことで、屋外で栽培するより、5倍以上収穫できる。それに対し、「授産施設を運営している方へ情報提供する」という答弁であった。



**地上デジタル放送
について質問**
木村 純一

○ 地上デジタル放送への円滑な移行推進に伴う財源措置について

○ 国はデジタル中継局支援事業としてアナログ中継局のデジタル化を市町村が実施した場合、事業費の二分の一を国が補助し、四分の一を特別交付税措置による支援を行うこととしている。残り四分の一については、民間放送事業者が負担することになっている。この補助制度を活用してデジタル化に向け整備に取り組んでいきたい。